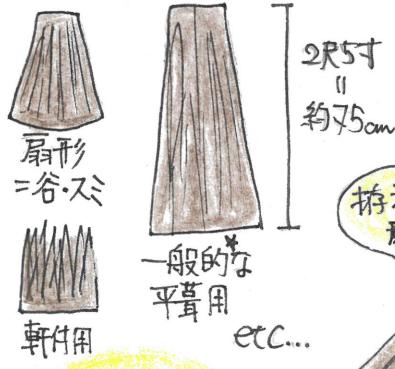


檜皮の扱え

屋根葺現場を支える縁の下の"8割"

山から採集して来た檜の皮(扇皮)を、屋根葺材として使うに適切な厚さ形に整える作業。平隅・谷・軒付など、それぞれの場所に応じた必要な形・量の皮を扱えていく。



* 特殊な長さ(厚さ)で葺く建物もある

(ex)

清水寺: 3尺2寸、厚め
吉備津神社: 3尺
出雲大社: 4尺以上

庖丁の形状と役割(使い方)

